

天才ハイスクール!!!! 展覧会「Genbutsu Over Dose」



この度、4月17日から21日までの5日間、東京の高円寺にて天才ハイスクール!!!!展覧会「Genbutsu Over Dose」を開催いたします。

アーティスト集団「Chim ↑ Pom」のリーダーである卯城竜太氏が講師を務める美学校の現代美術セミナー『天才ハイスクール!!!!』は2010年にスタートしました。現在、1期生から現役5期生まで総勢約20組からなり、これまでに多数の展覧会やイベントに参加しそれぞれが活躍の場を広げています。そして、5年目となる今期をもちまして本講座を閉講するにあたり、これまでの活動を締めくくる展覧会をメンバーの個展などを幾度も開催してきた高円寺で開催する運びとなりました。

天才ハイスクール!!!!のラストステージとなります展覧会「Genbutsu Over Dose」をこの機会にどうぞご覧ください。

【開催概要】

展覧会名： 天才ハイスクール!!!!展覧会「Genbutsu Over Dose」

会期： 2015年4月17日(金)～4月21日(火)

会場： 高円寺「キタコレビル」、素人の乱12号店「ナオナカムラ」、その他周辺スペース
「キタコレビル」東京都杉並区高円寺北3-4-13
「ナオナカムラ」東京都杉並区高円寺北3-8-12(素人の乱12号店)

開場時間： 14:00～22:00(会期中無休)

入場料： 無料 ※イベントは有料

作家： 堅田 好太郎、キュンチョメ、志水 佑、西村 健太、宮寄 浩 (BOMBRAI WEST)
涌井 智仁、石井 陽平、ケムシのごとし、REDICAcrow、毒山 凡太郎、新井 信
タタラ・タラ、安原 杏子 a.k.a 青椒肉絲、やまだしげき (チームワレラ)、SORA

お問い合わせ： nakamuranao19900715@gmail.com (展覧会担当：中村奈央)

ウェブサイト： <http://naonakamura.blogspot.jp/>

【関連イベント】

天才ハイスクール!!!! ゲストトークショー!!!!

日時： 4月17日(金)～19日(日)19:30～(開場19:00～)

会場： 高円寺「Pundit」東京都杉並区高円寺北3-8-12

ゲスト： (敬称略・五十音順)

17日(金) 櫛野 展正 (軀の津ミュージアム キュレーター)
上妻 世海 (キュレーター/作家)
武田 俊 (TOMAGAZINE 編集部)
18日(土) エリイ (アーティスト/Chim ↑ Pom)
成相 肇 (東京ステーションギャラリー学芸員)
毛利 嘉孝 (社会学者)
山本 裕子 (ギャラリスト/山本現代代表)
和多利 浩一 (ワタリウム美術館代表/キュレーター)

19日(日) 岩渕 貞哉 (『美術手帖』編集長)
梅沢 和木 (美術家)
風間 サチコ (アーティスト)
窪田 研二 (キュレーター/KENJI KUBOTA ART OFFICE)
藤城 里香 (無人島プロダクション代表)

料金： 1日間単品チケット 800(700)円
3日間通しチケット 2,100 (1,800)円

※()内は前売り料金。何れもワンドリンク付き

ご予約： <http://pundit.jp/>

この度、高円寺にありますキタコレビル、ナオナカムラ(素人の乱12号店)他に、天才ハイスクール!!!!解散制作展「Genbutsu Over Dose」を行います。

天才ハイスクール!!!!は美学校の同名の講座の現役生・OBによって構成される集団です。これまで5年間精力的に活動してきましたが、解散し、本展から新しいスタートを切ります。

解散制作展のテーマは「ある現実を超える」です。アートは様々な状況に独特な形式で介入していきます。現実には有り得る、または有る問題を表面化させるものであったり、正面からアゲインストするものであったり形は様々です。それは常に現実の危うさや不透明さに言及したアートからのalterな世界の提示であり、どこかにある世界を要請しバイパスする作業です。

今回天才ハイスクール!!!!は、僕達がそれぞれ固有に生きる世界から、今ある現実を沸騰させ物理的にヤバくするための仕掛けを作ってみました。かつてヨーゼフ・ボイスが「社会彫刻」と名付け、人間が創造的に営むことから社会をアップデートできる可能性を説いたように、今日柔らかい土地に屹立する現実を一旦押しやり、可能的な現実を立ち上げてみようと思います。アートではないのかもしれないし、必ずしも今ある具体的な問題にアプローチする訳ではないかもしれませんが。本展に参加する16人の16個のソフトが、またそれが一度に雑多な形でインストールされた1つのハードが、どういう形で現実を更新、繋留、スライドさせるか、ステイトメント執筆 段階の今はまだとても想像ができません。1人であり2人であり同時に複数である天才ハイスクール!!!!という未グループな集団の設営作業が、また新しい場所に立脚し、alternativeな場所を構築するだろうと今は期待しています。

本展で“解散”と言いつつ、天才ハイスクール!!!!はグループではありません。ここで言う解散には便宜的な意味しかありません。ただ“解散”という言葉を使って僕達は別れる事にしたのです。僕達の関係というのは、たかがクラスメイトであり、目的を共有し統一的な表現的指向性を持つような集団ではありません。僕達はグループとは違う結びつきで世界やお互いに介在していききました。それはかなり倒錯的な“愛”であったと確信しています。

天才ハイスクール!!!!の展覧会はそれぞれの作家がそれぞれの表現や問題意識を展示空間に寄せ集めるものでした。しかし、それは物理的かつ人間としてクソ的な理由で通常の間では叶いません。他の作品を侵食する形で展開してしまった作品、何となく置いてしまったモノ、片付け忘れたモノがその間に必然のように横たわるのです。それは展覧会やキュレーションが暗黙に了解している、配置された作品の行間を読むという作業を妨害するものでした。僕達は展覧会が完成の体を成すと、夢を見ているような気分になりました。想像することのできなかつた、見るはずも無かつたビジュアル、新しい世界が登場するからです。この時天才ハイスクール!!!!は初めて統合の形をとり、お互いの差異を通じて世界やアートに触れていた気がします。

天才ハイスクール!!!!の活動は定期的なサイファーでした。サイファーは“暗号”であり“サークル”であり、“こっち”の言葉で“あっち”へ語りかける事です。この周縁的なサイファーの始まりはキタコレビルでした。そして終わりのキタコレビルです。この5年間自主組織的に展覧会を重ね、またキタコレビルで展示できる事は凄く重要だと感じます。「愛とは、単に出会いや二人の個人のあいだの閉じられた関係なのではなく、一つの構築なのです。それは、一者の視点からではなく、二者の観点から織り成される生なのです。」哲学者アラン・バディウが「愛の世紀」で語った愛の、そして世界の構築についてのこの言葉をエピグラフにし、今展覧会をスタートし、同時に有終の美を飾ります。

涌井智仁(天才ハイスクール!!!!)

【作家】

堅田 好太郎 KOTARO KATATA

1985年、山口県生まれ。小学校の時の将来になりたいものは大工か釣り師。中学校の時のなりたいものはファッションデザイナー。高校3年生の時に通った芸大・美大予備校で初めてデッサンを見て衝撃をうけ、美術家になることを決意。東京芸術大学油画科を目指す。4～5浪するも芸大受験に失敗、約2年間ぶらぶらしたのち美学校に入校。美学校修了後は映像と絵画を軸に痛々しくも愛おしい作品を制作。

主な個展に、「BOY'S DON'T CRY」ナオナカムラ(東京/2014)。主なグループ展に、「トーキョーワンダーウォール公募2014」東京都現代美術館(東京/2014)、「旅公演(どりふと)」東京都美術館(東京/2015)

キュンチョメ KYUN-CHOME

ホンマエリとナブチの男女ユニット。「こんな世の中、キュンチョメするしかないしょ?!」と思ってキュンチョメはじめました。花壇を踏み進まなければ展示会場に入れない「Flower xx」(2012)、東日本大震災の被災地で自らがひたすら遠吠えを続ける「遠い世界を呼んでいるようだ」(2013)、日本の自殺の名所である樹海で“もういいかい”と誰かに呼びかけ続ける「なにかにつながっている」(2014)、など、様々な場所と手段で人の業と対峙しています。

近年の個展に「ここではないどこか」(ナオナカムラ/2013)、「なにかにつながっている」(新宿眼科画廊/2014)など。

第17回岡本太郎現代芸術賞受賞。4月1日から20日まで岡本太郎記念館にて展示中

<http://kyunchome.main.jp/>

志水 佑 Task Shimizu

1990年愛知県生まれ。多摩美大彫刻科中退。天才ハイスクール!!!!の他に金座、大木家などに所属。リトルトゥース。山本現代での『天才ハイスクール』展より同団体ディレクターを志願。集団作業による複合人格を作品や展覧会としている。

4月22日から26日まで王子小劇場で劇団じゅんこちゃん旗揚げ公演『ファンタスティック☆ファウスト』に金座から舞台美術で参加します

西村 健太 KENTA NISHIMURA

1988年生まれ。自分の精子を死ぬまで顕微鏡で見続け、月に見立てた映像作品「MOON」(2011)、入浴剤で創った骸骨や胎児を少しずつ溶かす「We Always Know」(2012)、消臭芳香剤でかたどられたモニュメントバレー「MONUMENT」(2014)など、消えゆく素材を扱い、象徴的な事物に新たな価値を見出す作品を発表。

主な個展に、「Re」(ナオナカムラ/2012)、「SUBLIMATE」(無人島プロダクション/2014)など

宮 崎 浩 (BOMBRAI WEST) HIROSHI MIYAZAKI (ボムライ ウェスト)

大阪府出身。「身体」・「Sexuality」・「祀り」をテーマに作品制作を行っている。

誰かのレントゲン写真と、映像が流れるモニターライトボックスの要領を組み合わせた「The drawing」(2013)、誰かのSexual photographを飛び出す絵本の要領で立体化した「キュビタリアン」(2011)誰かの人形や野原の植物を黒塗りにし、構成した祠インスタレーション「Order Of Things」(2013)など、他者の身体や人格、ストーリーを無視し切り刻むようなプリコラージュ的作品に目下傾倒中

涌井 智仁 tomohito wakui

新潟県旧川西町出身。美術家。音楽家。動く・光る・鳴る作品を制作。

職業音楽家、システムエンジニアとして活動する傍ら、大橋可也&ダンサーズ、ブルーノプロデュース等の舞台に音楽として参加

石井 陽平 Yohei Ishii

1990年東京都生まれ。2011年、writtenafterwardsのデザイナー山縣良和氏による「ここのがっこう」を修了。これまでプライベートで生まれる普遍的な愛情をテーマに、さまざまな手段で自身を取り巻く愛のかたちをさらけ出し作品を制作。たまに役者もやる。

主な個展に、「最高に生きる」(ナオナカムラ/2014)、「真のLOVE展 これが僕の愛のかたち 木からダッチワイフ、麻里子まで」(ナオナカムラ/2013)。その他、園子温監督映画「TOKYO TRIBE」に出演など

<http://yoheiishiiwork.tumblr.com/>

ケムシのごとし KEMUSInogotosi

1990年、秋田県生まれ。マシュマロのような意志で現在、東京在住

REDICAcrow レディカクルー

岡 志憧、膿生海を中心としたグラフィティライター×アーティストのチーム。超モヤシ系で超文化的な制作を行う。マッチョでもないし虚勢もないその制作は、日本の歴史文化から抽出されこの空気中を常に漂う本当の《ストリート》を、アートとして暴き出そうとしています。

映画「TOKYO TRIBE」グラフィティ制作、コム・デ・ギャルソン シューズデザインなど

<http://redicacrew.web.fc2.com/>

毒山 凡太朗 DOKUYAMA Bontato

本名はハンガイショータロー。福島県出身。天才ハイスクール!!!!4期。大学では微生物由来の分解酵素についての研究。卒業後、インテリア建築事務所勤務を経て、美学校入校。

初個展『Mystery Sense』（ナオナカムラ／2014）を開催。出発点は生活の中！そこから飛躍した『一人遊び』をしている。映像を中心に様々なツールで制作している

新井 信 Shin Arai

1982年東京都生まれ。高校を卒業後、セレクトショップの販売員や服飾の専門学校「エスモードジャパン」へ入学、ジョン・ガリアーノ氏のアシスタントだったパトリック・ステファン氏(PATRICK STEPHAN)などにデザインを学び、山本耀司氏のアシスタントだったミハイル・パンチレエフ氏(volga volga)のアシスタントを務めるなど多様な経験を積んだのち、2010年2月に“実用可能なART、美しい服”をコンセプトに掲げた自身のブランド『VIOLET』を立ち上げる。ファッションと平行してアートの製作を行う。美学校「天才ハイスクール!!!!」5期生

<http://shinarail42.tumblr.com/>

タタラ・タラ TATARA・TARA

東京都下町生まれ。あだ名は、タラちゃん。高校からデザイン専門の学校で学ぶ。女子美術大学短期大学部情報メディア科へ進学後、デザインとアートの中間で模索。その頃から、キャッチーでクッスとなるような作品を制作する。卒業制作優秀作品賞受賞。卒業後、商業デザイナーとして大手企業の広告やパッケージデザイン等を手がける。デザイン雑誌に商品が掲載。ある事がきっかけで脳機能の検査を受け、医学的にアタマの中の川の色が違っていると証明される。[形式的思考障害]

その後、美学校へ入学。天才ハイスクール!!!!5期生

<http://tataratarachan.wix.com/tatara>

安原 杏子 a.k.a 青椒肉絲 Kyoko Yasuhara a.k.a chinjao rosu

身体を観察することに関心がある。2次元の女の子や身体や、虫を扱った絵や映像を制作している。

定期的に漫画を描いている。

5月にナオナカムラで個展を開催予定

やまだしげき (チームワレラ) shigeki yamada (TEAM WARERA)

岐阜県出身、1974年生。農家の長男として誕生。現在、職業振付師として活動中。元シルクドソレイユダンサー。ラスベガス常設公演「Believe」にオリジナルキャストとして契約。退団後インドに滞在しヨガにはまる。2014年美学校にて現代美術を学ぶ(天才ハイスクール!!!!5期生)。

宮沢賢治【農民芸術概論綱要】をフューチャリングする農芸集団TEAM WARERA(岐阜県)発足メンバー

<http://www.shigekiyamada.com/>

SORA ソラ

沖縄県出身。あるスイッチがオンされて今に至る。

このセカイのフーシギーでへんちくりんではっぴーなモノ捕まえちゃってます



堅田好太郎「タレ目の男」2014



キュンチョメ「日陰の太陽」2015



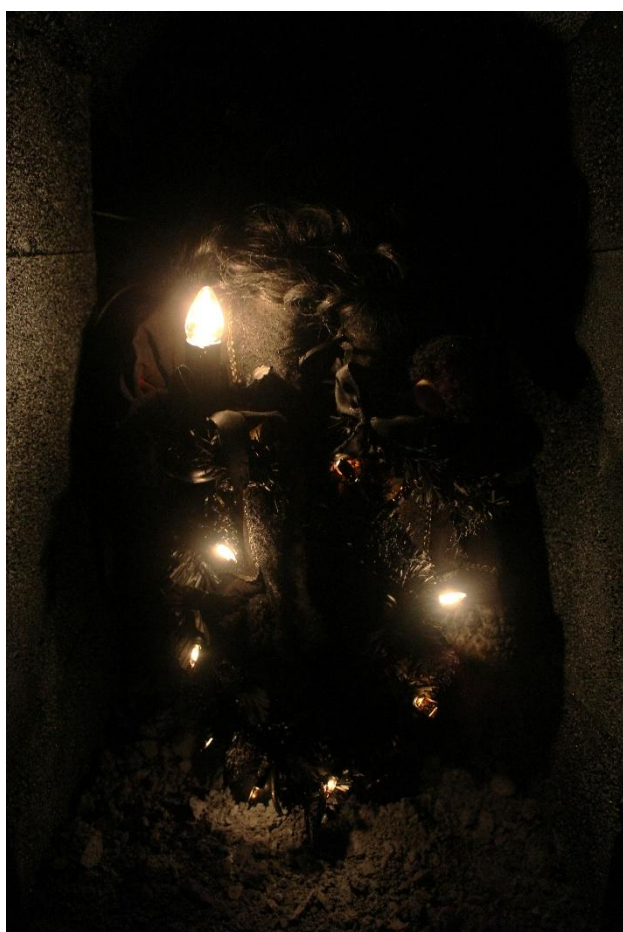
志水佑「世界君主」2015



西村健太 個展「SUBIMATE」展示風景 2014
(無人島プロダクション)



涌井智仁「サドへ」2014



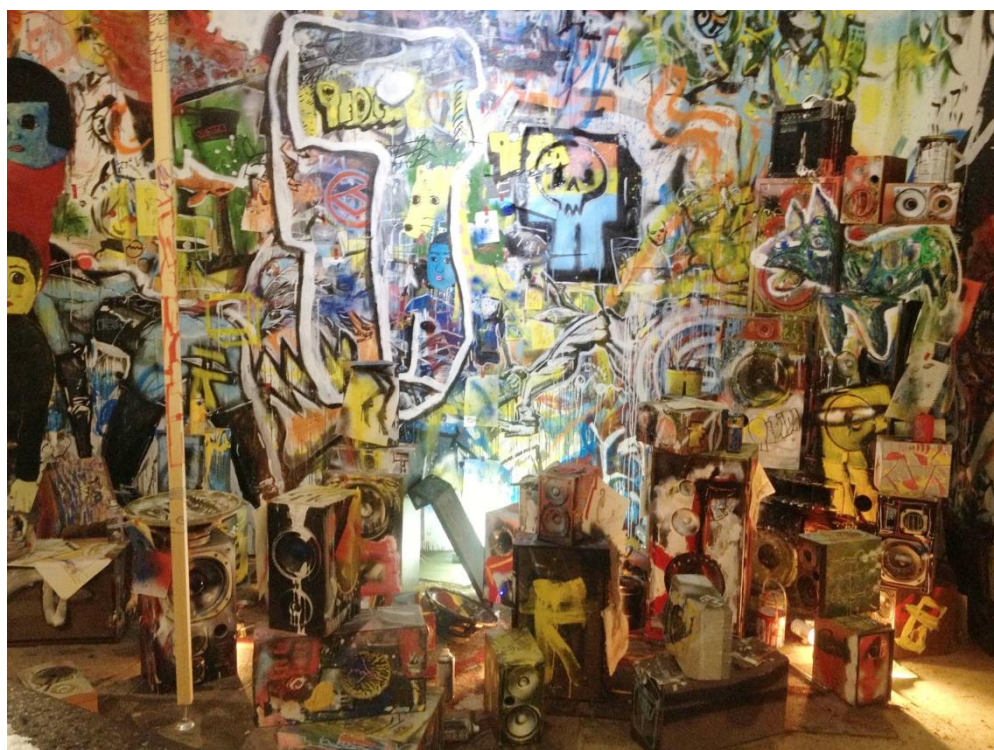
宮寄浩「Order Of Things」2013



石井陽平「最高に生きる」2014



ケムシのごとし「PEAK」2014



REDICAcrew「speak out」2013



毒山凡太郎「源氏名 LInCCAi-chan」2015



新井信「SELECT SHOP ONYEN」2015



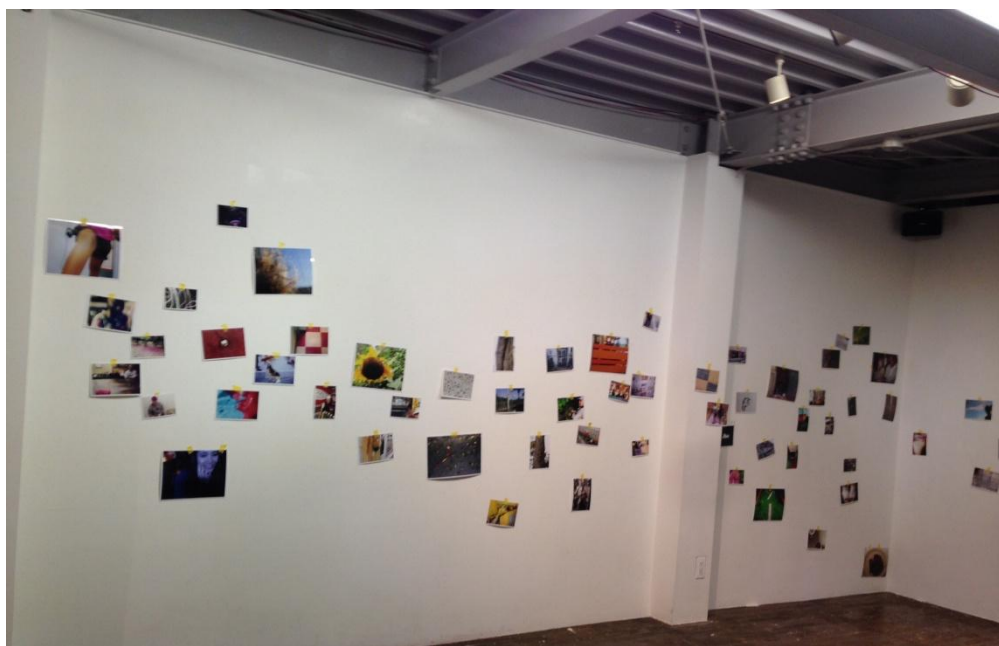
タタラ・タラ「果たし状 -to Pentagon-」2015



安原杏子a.k.a青椒肉絲「Graffiti」2014



チームワレラ「およそ100年の時空を超えて
～宮沢賢治【農民芸術概論綱要】と共に～」2014



SORA「たからさがし」2015



堅田好太郎個展「三日勇者／eastern easter」(2012)



志水佑個展「ゆにおん」(2012)



宮寄浩個展「DON'T THINK」(2012)



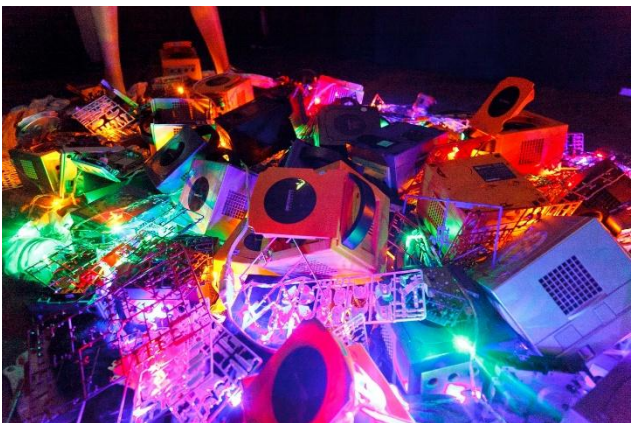
キュンチョメ個展「遠い世界を呼んでいるようだ」(2012)



西村健太個展「Re」(2012)



石井陽平個展「真のLOVE展 これが僕の愛のかたち
木からタッチワイフ、麻里子まで」(2013)



涌井智仁個展「蒼い優しさにだかれて」(2012)



REDICAcrew個展「REAL DEALS」(2013)



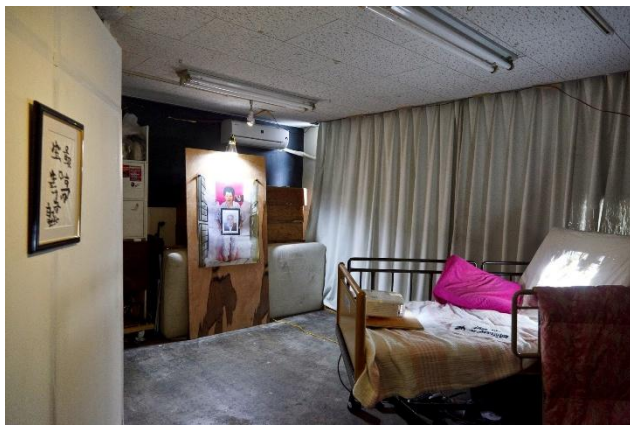
ケムシのごとし個展「第831話『つよい気持ち』」(2013)



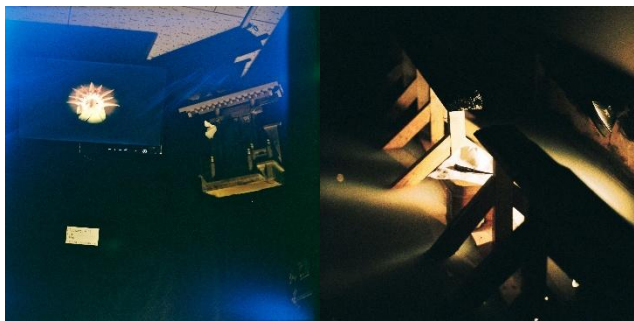
石井陽平、佐藤翔、ひろせなおき展覧会「ゲームボーイ」(2014)



キュンチョメ個展「ここではないどこか」(2013)



石井陽平個展「最高に生きる」(2014)



毒山凡太郎個展「ミステリーセンス」(2014)



堅田好太郎個展「BOYS DON'T CRY」(2015)



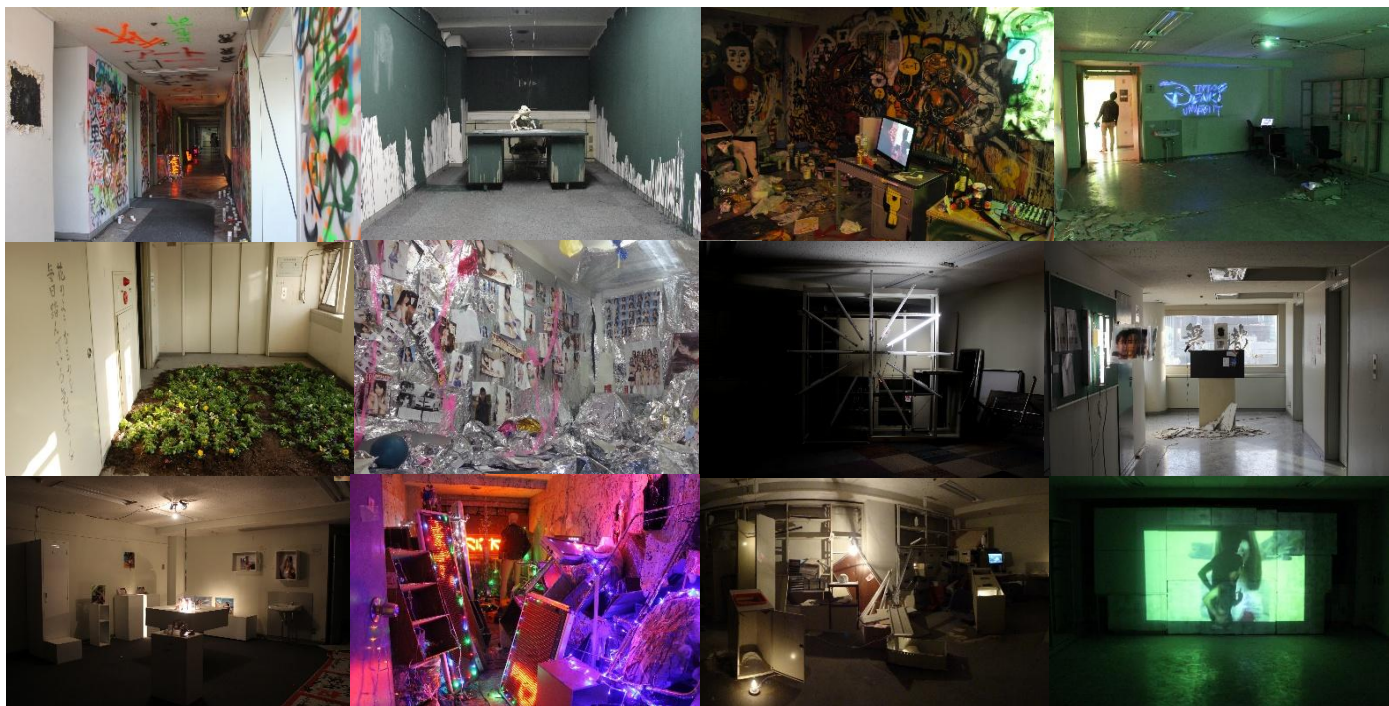
れぼらボックス個展「れぼらボックスinナオ ナカムラ」(2014)



新井信個展「MADE IN A VERY SPECIAL PLACE」
(2015)



天才ハイスクール!!!! 展覧会「カミングアウト!!!!!!」 —親戚のお姉さんのパンツを食べたことから始める—
(2011/GARTERギャラリー、なんとかBAR、素人の乱12号店)



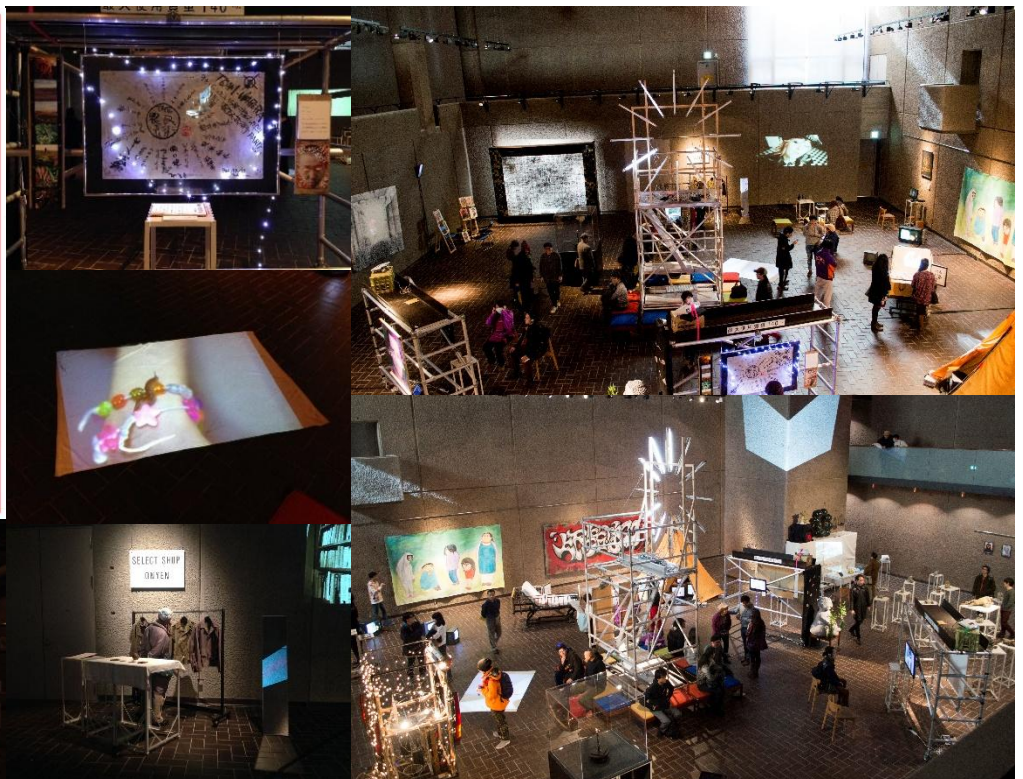
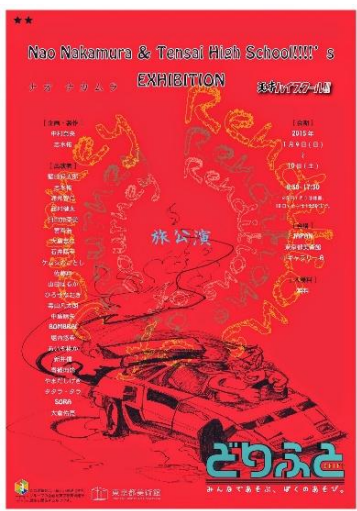
神田コミュニティアートセンタープロジェクト「TRANS ARTS TOKYO」(2012/旧東京電機大学校舎跡地)



天才ハイスクール!!!!展覧会「天才ハイスクール!!!! × 福住廉 限界とかねーし Limiter Cutしてるし」
(2013/HIGURE17-15cas)



YAMAMOTO GENDAI Future Feature Vol.6
 天才ハイスクール!!!! 展覧会「天才ハイスクール」(2013/山本現代)



第3回都美セレクショングループ展 ナオナカムラと天才ハイスクール!!!! 『旅公演(どりふと)』(2015/東京都美術館)

【天才ハイスクール!!!! ゲストトークショー!!!!】

今展覧会に伴い、会期中の17日(金)、18日(土)、19日(日)の19:30より3夜連続でアーティスト、ギャラリスト、キュレーターなど多方面で活躍されている14名の豪華ゲスト陣をお招きし、今展の講評をはじめ、各回ごとに異なるにテーマを設けてスペシャルトークショーを開催いたします。ぜひお越しください。

日時: 4月17日(金)~19日(日)19:30~(開場19:00~)
会場: 高円寺「Pundit」東京都杉並区高円寺北3-8-12
料金: 1日間単品チケット 800(700)円
3日間通しチケット 2,100 (1,800)円
※何れもワンドリンク付き
ご予約: <http://pundit.jp/>

ゲスト一覧(敬称略・五十音順)

【4月17日(金)19:30~】「アート非アートのフロンティア」 司会:涌井智仁

櫛野 展正 (軀の津ミュージアム キュレーター)
上妻 世海 (キュレーター/作家)
武田 俊 (TOMagazine 編集部)
他

【4月18日(土)19:30~】「ヤンチャのやり方 通し方」 司会:キュンチョメ

エリイ (アーティスト/Chim ↑ Pom)
成相 肇 (東京ステーションギャラリー学芸員)
毛利 嘉孝 (社会学者)
山本 裕子 (ギャラリスト/山本現代代表)
和多利 浩一 (ワタリウム美術館代表/キュレーター)

【4月19日(日)19:30~】「実践!!!! アートの戦場」 司会:キュンチョメ

岩渕 貞哉 (『美術手帖』編集長)
梅沢 和木 (美術家)
風間 サチコ (アーティスト)
窪田 研二 (キュレーター/KENJI KUBOTA ART OFFICE)
藤城 里香 (無人島プロダクション代表)

ゲスト一覧(敬称略・五十音順)



櫛野 展正(軀の津ミュージアム キュレーター)

広島県福山市軀の浦で築150年の蔵を改修しオープンした「軀の津ミュージアム」でキュレーター他を担当。社会の周縁で表現を続けている人たちに焦点を当て、挑戦的な企画を打ち出し続ける。

企画した展覧会に『花咲くジイさん～我が道を行く超経験者たち～』(2014)、『ヤンキー人類学』(2014)、「極限芸術～死刑囚の表現～』(2013)など



上妻 世海(キュレーター/作家)

1989年生まれ。キュレーター/作家。歴史的に規定された制度が機能しなくなり、全てのメディアがデジタルに還元されながら拡散する情報社会の中で、それらを単独的な形で再構築することをテーマに東京を中心に活動している。

主な活動に、「六本木クロッシング2013展:アウト・オブ・ダウト」(2013年 森美術館)関連プログラム「現在のアート」にて集団性と生成の原理について関係性という視点から論じた「集団と生成の美学」を発表。2010年代に起こった言語圏に縛られたインターネットから画像の制作を媒介にしたヴィジュアルコミュニケーションをテーマとした「≈wave≈ internet image browsing」(2014年 TAV GALLERY)キュレーション。関連企画として黒瀬陽平氏との公開対談「POST-INTERNET IMAGE BROWSING - 自閉と横断の二つの側面から情報社会における創造性を考える」出演などがある

<http://twitter.com/skkzm>



武田 俊(TOMagazine 編集部)

1986年、名古屋市生まれ。法政大学文学部日本文学科在籍中に、世界と遊ぶ文芸誌『界遊』を創刊。編集者・ライターとして活動を始める。

2011年、メディアプロダクション・KAI-YOU, LLC. を設立。「すべてのメディアをコミュニケーション+コンテンツの場に編集・構築する」をモットーに、カルチャーや広告の領域を中心に、文芸、Web、メディア、映画、アニメ、アイドル、テクノロジーなどジャンルを横断したプロジェクトを手がける。2014年12月より『TOMagazine』編集部に所属。NHK「ニッポンのジレンマ」に出演ほか、講演、イベント出演も多数。右投右打



エリイ(アーティスト／Chim ↑ Pom)

現代美術作家。2005年に結成したアーティスト集団「Chim ↑ Pom」のミューズ。Chim ↑ Pomは、時代のリアルに反射神経で反応し、現代社会に全力で介入した強い社会的メッセージを持つ作品で知られ、世界中の展覧会に参加。

海外でもさまざまなプロジェクトを展開している

<http://chimpom.jp/>



成相 肇(東京ステーションギャラリー学芸員)

1979年生まれ。府中市美術館学芸員を経て、2012年から現職。

主な企画展に「石子順造的世界」「不幸なる芸術」「ディスカバー、ディスカバー・ジャパン」など



毛利 嘉孝(社会学者)

1963年生。専門は社会学、文化研究・メディア研究。東京藝術大学准教授。

主著に『ストリートの思想』(日本放送出版協会)、『文化＝政治』(月曜社)、共著に『アフター・テレビジョン・スタディーズ』(せりか書房)等



山本 裕子(ギャラリスト／山本現代代表)

2004年神楽坂のワイルドな工場街に現代美術ギャラリーを開廊、2008年現白金に拡大移転。

文化ジャンルやメディアを又につなげ活動するアーティスト及び作品を多く紹介している

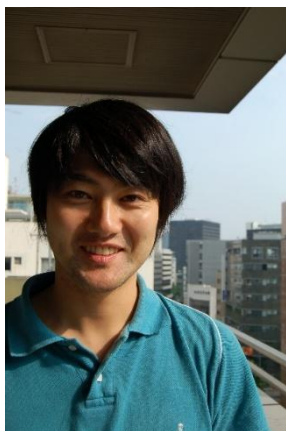


和多利 浩一(ワタリウム美術館代表／キュレーター)

1980年オン・サンデーズ設立。美術書籍の出版社イッシブレス設立後、1990年ワタリウム美術館開館。

ドイツのドクメンタ9で初の日本人スタッフ、第1回南アフリカ・ヨハネスブルグ・ビエンナーレ日本代表コミッショナーなど国内外で活動。共著書に「チャイナアート」、「夢みる美術館計画」他。

地域ボランティアとして、青山キラー通り商店会会長、原宿地区商店会連合会会長、原宿神宮前まちづくり協議会代表幹事なども務め、街づくりに参加してきた。



岩渕 貞哉(『美術手帖』編集長)

『美術手帖』編集長。1975年生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業。2002年から『美術手帖』編集部にて在籍、2008年より現職。2015年3月に新創刊した『美術手帖 国際版』編集長も務める



撮影:水津拓海(rhythmsift)

梅沢 和木(美術家)

1985年生まれ。ネット上で無数の画像を収集、再構築し画像や絵を作っている美術家。カオス*ラウンジとCASHI所属。

主な展示に「Empty god CORE」(2014年 B2OA gallery)「LOVE展:アートにみる愛のかたち」(2013年 森美術館)、「特別展手塚治虫×石ノ森章太郎マンガのちから」(2013年 東京都現代美術館)、「大地と水と無主物コア」(2012年 CASHI)、「カオス*ラウンジ2010 in 日比谷」(2010年 高橋コレクション日比谷)等
梅ラボ <http://umelabo.info/>



風間 サチコ(アーティスト)

1972年、東京都出身。武蔵野美術学園 版画研究科修了。現代社会と過去の歴史を、垂直に透視し掘り起こすようなモノクロの木版画を制作。

主な展覧会に、2008年「太郎賞の作家I」川崎市岡本太郎美術館。2010年「VOCA展2010」上野の森美術館。2013年「六本木クロッシングアウト・オブ・ダウト」森美術館など



窪田 研二(キュレーター/KENJI KUBOTA ART OFFICE)

上野の森美術館、水戸芸術館現代美術センターの学芸員を経て2006年より東京を拠点にインディペンデントキュレーターとして活動。2008年よりKENJI KUBOTA ART OFFICEを立ち上げ、キュレーションやコンサルティングをおこなっている。また2010年よりSNOW Contemporaryを開始し、山川冬樹、竹内公太、SWOONらのマネジメントをおこなうなど、社会システムにアートがどのように機能しうるかを、様々な文化的フォーマットを用いて試みている。現在、筑波大学芸術系准教授



藤城 里香(無人島プロダクション代表)

2006年、高円寺で無人島プロダクションを設立(2010年に清澄白河に移転)。八谷和彦、八木良太、Chim ↑ Pom、風間サチコ、白井良平、朝海陽子、田口行弘、松田修、加藤翼、西村健太といった、社会や歴史を独自の視点で切り取った表現活動を展開する作家たちのマネジメントを中心に、さまざまなプロジェクトを企画し、作家の活動を世界に向けて発信中。またプロダクトのリリースや書籍のプロデュースなど、ギャラリーでの展覧会のみならず作家の表現をさまざまな角度からプロモーションしている